

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第6波による、全国的なまん延防止等重点措置が解除されてから、来客の動きが回復基調である。1月頃は売上が新型コロナウイルス前の30%程度しかなかったが、4月は70%程度にまで回復してきている。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前の1月は冬季でまん延防止等重点措置期間中であつた。それと比べれば、宿泊、レストラン、宴会の全てで客足も伸び、販売量も増えている。全体的に1月に比べれば130%伸びている。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は葬儀の依頼が多い。事前相談は1件だけで、あとは全て飛び込みの依頼である。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・3～4月にかけて、当店は新入学生の指定体育衣料を納品している。こういう時代なので、クラブ活動も少ないし、世間では景気が余り良いと言われていないので、販売や注文が減るかと思っていたが、お客様で前年並みくらいで動いているので、やや良くなっている。
	○	スーパー（経営者）	お客様の様子	・4月25日時点で、前年比売上は3%増、来客数は8%減となっている。3月中盤からイベントも再開されるようになってきている。大規模なイベントは企業の事業でもあるので行われているが、地域のイベントは今年で3年連続の中止となっている。地域にイベントが再開されれば、大分平時に戻ってきたような気持ちになる。新型コロナウイルスに感染すると10日間仕事ができなくなってしまうので、もう少し緩くしてもらいたい。
	○	コンビニ（経営者）	それ以外	・来客数自体は減っているが、客単価が若干上がっており、トータルすると若干マイナスだが、動きとしては悪くない。
	○	自動車備品販売店（従業員）	それ以外	・3か月前は新型コロナウイルスの影響もあつて厳しい状況だったが、今月は来客数が前年を上回る等、良くなってきている。ただし、様々な物価上昇の影響もあり、客単価は前年割れの状況が続いている。
	○	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大も、高止まりからやや減少傾向がみえつつあり、行政機関の感染対策と経済の両立政策が浸透し始めている。
	○	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・1年延期になった地元名物の祭礼と、バイパスの開通が功を奏している。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んできて、新規感染者数の割に入院者数が増えなくなっている。定期的にワクチン接種していれば、それほど怖い病気ではなくなってきたのだと思うが、感染者が出ていても普通の生活ができるようになってきている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は増加傾向にあつたものの、まん延防止等重点措置期間とは違い、人の動きが活発である。週末を中心に、予約客でほぼ満席となり、若干人の流れが弱かった夜でも、以前と比べれば非常に動きがあり、良い流れが続いている。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・中心街では現在、名物の祭礼が行われているが、私どもの地区は、中心街から15キロほど離れた田舎のベッドタウンで、祭礼の影響は余りない。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・春の観光シーズンの開幕とともに、ツアーや一般客の客足が戻ってきている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は余り減らないが、気分的には多少なりとも落ち着いた感じである。僅かではあるものの、人出が改善しているように思われる。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・全てといっても過言ではないくらい、物品価格の値上げが発表され、実際に値上げが始まっている。この状況で消費意欲向上を望んで、売上を伸ばすことは厳しい。

	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりで、買上点数は増加しているものの、来客数減少が続いている。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数の変化は余りないものの、客単価は落ちてきている。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・このところ、値上げも大分入ってきているが、影響は今のところ顕著に出ている状況ではなく、今までと変わらない。
	□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・毎回同じだが、季節が変わっても商材が動かない。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・年々、集客数が減少している。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・半導体不足による新車供給遅れが続いている影響で、販売台数が伸び悩んでいる。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検は定期的なものであるが、ゴールデンウィークを控え、一般整備の入庫が多くなっている。前年は、旅行や外出を控えた様子だが、今年はゴールデンウィークに出掛ける方が多いことがうかがえる。車両販売は、新車の納期が遅れることも今では当たり前となり、それを逆算して新車購入契約を結ぶ客が多くなっている。
	□	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答したが、3か月前と全く同じような状態というか、もっと駄目な様子である。今、ウクライナ問題とか良い要素が一つもないので、本当に困っている。
	□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除されて個人客は動き始めたが、団体客は自粛傾向が変わらず、動きがない。バス旅行は、バスの利用を敬遠する傾向がみられ、申込みも低迷している。
	□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新年度に入り、新規加入数が保留や解約数を上回り、良い流れになりつつある。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・特段、新規契約者が増えている様子はない。他社への乗換え等にも変化はなく、良くも悪くも平行線である。
	□	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・特別な変化は感じられない。業績も順調である。
	□	その他サービス [貸切バス]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてこない。
	□	その他サービス [クリーニング]（経営者）	来客数の動き	・原油価格の高騰、物価上昇、新型コロナウイルスの感染状況がいまだに収束しないことがある。早く、感染症法2類の扱いから5類に引き下げてほしい。
	□	設計事務所（職員）	販売量の動き	・計画物件は増えているものの、仕事につながる物件は少ない。
	▲	一般小売店 [家電]（経営者）	販売量の動き	・商材不足等も影響してきている。
	▲	スーパー（店長）	単価の動き	・4月に入って、買上点数は減り、1品単価が上昇している。
	▲	コンビニ（経営者）	それ以外	・近隣にバイパス道路が開通し、やや悪くなっている。
	▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が前年と比べて減少している。社会情勢に大きく影響を受けている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・商店街に人通りが全くみられない。
	×	遊園地（職員）	来客数の動き	・3か月前と比べ、来客数自体は戻りつつある。しかし、比率で見ると4月は前年とほぼ同じなので、景気判断は悪くなっている。4月上旬は春休み期間のため来客も多く、にぎわっていたが、春休み以降は来客数が減少し、4月中は落ち着きをみせると予想される。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響以外にも、諸物価の上昇やウクライナでの戦争等、プラスに働く要素が見当たらない。
企業動向関連	◎	—	—	—
	○	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・発注量が若干増えてきている。

(甲信越)	○	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・3月に引き続き、4月も若干だが受注量が増加してきているので、今後を期待する。
	○	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・入荷待ちの部品が次々と入り、急ぎの生産が増えている。効率は悪いが仕事はある分、有り難い。
	□	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者は全国的に減少傾向で、人の流れもかなり多くなってきているが、購買意欲は低く、前年比で若干の増加程度である。
	□	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・特注商材の受注により一時的に仕事の確保ができたものの、今後は見込めない。
	□	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・資材、製品価格の高騰や納入の不安定化で、景気回復は先に延びるとみている。
	□	金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・依然として、新型コロナウイルス新規感染者数は減少していないが、徐々にWithコロナが浸透してきているようで、観光地における宿泊者数が戻ってきていると感じる。
	□	新聞販売店[広告](総務担当)	それ以外	・新型コロナウイルス感染防止やロシア、ウクライナ情勢等が、経済活動に大きく負の影響を与えている。生活用品の値上げや燃料費の高騰等、家計に与える影響は大きい。経済を回そうと政府や経済界が働きかけているが、先が見えず、好転している状況ではない。
	▲	金融業(調査担当)	取引先の様子	・製造業の受注水準は底堅いが、ウクライナ情勢等による原材料価格の高騰や円安進行で輸入コストが上昇しており、景況感や業績面に悪影響が生じ始めている。
	×	その他製造業 [宝石・貴金属](経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響にかかわらず催事は行われているが、前月同様に来客数、購買単価は落ちたままである。円安、金やダイヤモンドの取引価格高騰の影響で、新製品と在庫品の価格に大きな開きが出ており、現状は卸売が非常にやりにくい。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所(職員)	求人数の動き	・まん延防止等重点措置解除後の景気回復、地元名物の祭礼等の集客効果への期待感から、宿泊業等で求人数が増加している。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・消費意欲がまるで湧かず、週末の買物客も必要最低限の食材のみを購入しているようで、百貨店も夕方になると貸切状態である。これでは、先行きは不安定である。
	□	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・求職者の動きが思ったよりも伸びていない。新型コロナウイルスとどう関係しているかも不透明なため、状況的には変わっていない。
	□	民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・求人数は良い傾向にあるが、正社員採用はいまだ慎重な姿勢が続いている。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—